

令和 7 年度中津川市公立病院経営強化プラン評価委員会 評価書

中津川市公立病院経営強化プラン評価委員会
委員長 西尾 実

中津川市公立病院経営強化プラン評価委員会（以下「評価委員会」）は、中津川市民病院経営強化プラン（以下「経営強化プラン」）に対して、令和 6 年度実績での点検・評価を実施しましたので、下記のとおり報告します。

記

1. 開催日 令和 7 年 12 月 18 日(木)
2. 場所 中津川市民病院 5 階講義室
3. 評価方法 令和 6 年度の中津川市民病院の診療実績等について、中津川市民病院から提出された経営強化プランに対しての自己評価について、評価委員が点検・評価を行った。

4. 評価意見等

【役割・機能の最適化と連携の強化】

- ・公設診療所との連携も含め、将来のこの地域の医療のあり方が明確になっていくといいと思う。
- ・新病院建設、広域的な医療提供体制、経営形態の選択については先伸ばしになってしまうと思うので、早く取りかからないといけない。

【医師・看護師等の確保と働き方改革】

- ・離職の理由には、お金だけの問題でなく、処遇面で不満を持って辞めてしまう方もいると思うので、看護師へのきめ細やかな配慮をお願いしたい。
- ・女性はもちろん、男性が育休を取れるというのは積極的にアピールしてもらえたらいいと思う。

【経営の効率化】

- ・平均在院日数の短縮と、増収とのバランスについて、疾病ごとによって入院期間が適切なのか判断していると思うが、患者さんがそこを十分理解できなくて、不安になったり、不安のまま過ごして不信になったり、それらが一つになってこの病院の評価にも繋がってしまうことはいけないと思うので、患者さんに丁寧な説明をしていただきたい。
- ・達成率 A 及び B を満たしているが、令和 6 年度の赤字約 5.14 億円、令和 5 年度約 2.07 億円と約 3.07 億円悪化している。

【その他】

- ・数字はいろいろ練られて作られているが、気持ちよく患者さんに来てもらおうという体制も必要だと思うので、接遇についてもプランの中に織り込んでいただきたい。

5. 委員長全体総括

- ・定性的評価では、役割・機能の最適化と連携の強化について、地域医療構想等調整会議でも中津川市から「東濃東部及び木曽南部地域の中核病院として役割を担っていく」と方針が出ており、この地域における役割を継続してほしい。
- ・看護師等の確保について、看護基準上必要な看護師数は満たしているものの、安定的に外来・病棟を運用するために、継続して看護師等の確保をお願いしたい。
- ・今後の医療提供体制については、地域の医療を守るために中津川市だけでなく恵那市も含め話をしていく場を設けていただきたい。また、キャッシュフローを見ても厳しい状況が想定されるが、新たな構想を考えていくうえでの内部留保の確保に努めていただきたい。
- ・定量的評価では、令和 6 年度実績の点検評価 20 指標すべてで A 評価及び B 評価を達成、逆紹介患者件数は令和 5 年度 C 評価から B 評価へ改善、手術・全身麻酔・救急受入件数等は目標超の A 評価を達成したものの、外来診療単価の減少、人件費・物価高騰等により医業収支比率 91.3%、経常収支比率 94.5%、約 5.14 億円の赤字となり、経営状況は大きく悪化している。
- ・経営強化プランの最終目標は黒字化であるが、全国的に公立病院が赤字という状況で、今後も収益の悪化が想定され、令和 8 年度診療報酬改定を注視しつつ、環境変化を踏まえた目標値の変更も検討いただきたい。